

# 劇的チェンジ

---

シリーズ～チェンジ～

2016/8/28

# 滅んでしまった神の民

- 主なる神との関係回復のために選ばれた  
アブラハムとその子孫
- 与えられた「**律法**」
  - 守れば祝福、破れば呪い
- 最も基本的な戒めさえ守れなかつた
  - 「あなたには、わたしをおいてほかに神があつてはならない。」出エジプト20:3
- 国を失ったイスラエル
  - 前605年：第1回捕囚（ダニエルら）
  - 前586年：エルサレム破壊される

# 回復の約束

---

わたしがあなたの前に置いた祝福と呪い、これらのことがすべてあなたに臨み、あなたが、あなたの神、主によって追いやられたすべての国々で、それを思い起こし、あなたの神、主のもとに立ち帰り、わたしが今日命じるとおり、あなたの子らと共に、心を尽くし、魂を尽くして御声に聞き従うならば、あなたの神、主はあなたの運命を回復し、あなたを憐れみ、あなたの神、主が追い散らされたすべての民の中から再び集めてくださる。<申命記30:1-3>

# 捕囚地での待遇

## ○最初の捕囚民

- さて、ネブカドネツアル王は…イスラエル人の王族と貴族の中から、体に難点がなく、容姿が美しく、何事にも才能と知恵があり、知識と理解力に富み、宮廷に仕える能力のある少年を何人か連れて来させ… ダニエル書1:3-4

## ○変えられた名前

- 侍従長は彼らの名前を変えて、ダニエルをベルテシャツアル、ハナンヤをシャドラク、ミシャエルをメシャク、アザルヤをアベド・ネゴと呼んだ。1:7

# 律法を必死で守る①

- 「汚れ」た食物を避ける
  - ダニエルは宮廷の肉類と酒で自分を汚すまいと決心し、自分を汚すようなことはさせないでほしいと侍従長に願い出た。1:8
  - 律法に規定された「食べてはならない肉」の可能性
  - 異教の神に供えられた後、食事に出された
- 主は彼らの健康を祝福された
  - 十日たってみると、彼らの顔色と健康は宮廷の食べ物を受けているどの少年よりも良かつた。1:15

# 律法を必死で守る②

## ○異教礼拝を強要される

- ネブカドネツアル王の建てられた金の像の前にひれ伏して拝め。ひれ伏して拝まない者は、直ちに燃え盛る炉に投げ込まれる。3:5-6

## ○命をかけて拒む

- わたしたちのお仕えする神は、その燃え盛る炉や王様の手からわたしたちを救うことができますし、必ず救ってくださいます。そうでなくとも、御承知ください。わたしたちは王様の神々に仕えることも、お建てになった金の像を拝むことも、決していたしません。3:17-18

# 律法を必死で守る②

- 燃え盛る炉に投げ込まれた3人
  - ネブカドネツアル王は…シャドラク、メシャク、アベド・ネゴを縛り上げ、燃え盛る炉に投げ込ませた。3:19–20
- 主は3人を救われた
  - 王は言った。「だが、わたしには四人の者が火の中を自由に歩いているのが見える。そして何の害も受けていない。」3:25
- 王の告白
  - ネブカドネツアル王は言った。「シャドラク、メシャク、アベド・ネゴの神をたたえよ。彼らは王の命令に背き、体を犠牲にしても自分の神に依り頼み、自分の神以外にはいかなる神にも仕えず、拝もうともしなかったので、この僕たちを、神は御使いを送って救われた。」3:28

©2007 JBLM 2008: Ted Larson



# 命がけの祈り

- ペルシャ王国のNo.2になったダニエル
  - ダニエルには優れた靈が宿っていたので、他の大臣や総督のすべてに傑出していた。王は彼に王国全体を治めさせようとした。6:4
- 他の大臣らに妬まれ罷にかけられる
  - 向こう三十日間、王様を差し置いて他の人間や神に願い事をする者は、だれであれ獅子の洞窟に投げ込まれる。6:8
- エルサレム(神殿)に向かって祈るダニエル
  - ダニエルは王が禁令に署名したことを知っていたが、家に帰るといつものとおり二階の部屋に上がり、エルサレムに向かって開かれた窓際にひざまずき、日に三度の祈りと賛美を自分の神にささげた。6:11

# 正しい行為は報われる

- ライオンの洞窟に投げ込まれたダニエル
  - それで王は命令を下し、ダニエルは獅子の洞窟に投げ込まれることになって引き出された。王は彼に言った。「お前がいつも拝んでいる神がお前を救ってくださるように。」6:17
- ライオンから守られたダニエル
  - ダニエルは王に答えた。「… 神様が天使を送って獅子の口を閉ざしてくださいましたので、わたしはなんの危害も受けませんでした。神様に対するわたしの無実が認められたのです。」6:22-23



# 劇的チェンジ

- 「捕囚」という罰がもたらした劇的チェンジ
  - 第一戒すら守れなかつたユダヤ人が命がけで律法を守つた→新約時代
- 主なる神の憐れみがあつたからこそ
  - 主の慈しみは決して絶えない。主の憐れみは決して尽きない。それは朝ごとに新たになる。哀歌3:22-23
- 劇的チェンジによって反映された主の栄光
  - ネブカドネツアル王>まことに人間をこのように救うことのできる神はほかにはない。3:29
  - ダレイオス王>すべての民はダニエルの神を恐れかしこまなければならぬ。この神は生ける神、世々にいまし／その主権は滅びることなく、その支配は永遠。